

2017-18年度

# ガバナー公式訪問

## クラブ協議会

とき 平成29年8月30日(水)

ところ ホテルヘリテージ飯能sta.

### 飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

#### ●飯能RC 和泉由起夫会長

細井ガバナーは地区目標を19の標語で結んでおられます。福澤諭吉が作成したとされる7則から成る「福澤心訓」。作者が諸説あります。このうち5、7則が「職業奉仕」の理念にぴったり合う事に気付きました。

一、世の中で一番尊い事は、人の為に奉仕して決して恩にきせない事です。これは「超我の奉仕」「みんなのためになるかどうか」に似ていると思います。

一、世の中で一番悲しい事は、うそをつく事です。これは「真実かどうか」に当てはまる。ポール・ハリスの著書の中で「四つのテスト」を实践された方が潰れかけた会社を建て直したという記事が載っていた事を思い出します。

細井Gは地区目標「中核的価値観の模範を示し、活動の全てを倫理的に行う」という項目の中に先程の高潔性という価値観を挙げておられます。中核的価値観の共通価値観である「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」の中から高潔性を挙げられたわけは、1) ロータリーの目的、ロータリアンの行動規範、四つのテストを实践する、2) A. F. シェルドンの職業奉仕哲学を学ぶ、の2つに分けられた事でよく分かりました。シェルドンの経営学に基づく著書『奉仕理念』に、「奉仕の哲学」を科学的に理解した卓越した奉仕と正当な報酬との関係について、「火と熱との関係」と同じだとあります。弱い火は弱い熱、強い火は強い熱をもたらす。同様に、人間の取引の場面ではどんな事業であれ有用な努力、卓越した奉仕は原因であり、正当な報いは結果であると謳われています。少ない奉仕には少ない報酬。「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」のモットーが、RCの2つの理念の1つ「職業奉仕」の理念であり、もう1つは、他人のために尽くす、「超我の奉仕」のモットーで表現されております。「人道的奉仕理念」を細井Gは「奉仕理念の実践」の項目で謳っておられます。2010年より確立されてきて、細井Gも踏襲されておられるRI戦略計画の3つの柱「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」。このRI戦略計画をみんなで実行しようとテーマに掲げられました。これを少しでも具象化出来ればと、本年度の方針に盛り込みました。「クラブのサポートと強化」には、1) 委員会活動はまず本人が楽しむ事から。2) 面白くて為になる例会と卓話。3) 気分と足が自然に例会場に向かうような気概をみんなと共有。4) プログラムの充実で出席率の向上と知識を高める。5) 趣味を楽しむ。ロータリー

を楽しむ。6) 例会に出席することで本人の人間性と人格を高めよう。7) ロータリーの主体は地域のクラブ。8) 個性あってこそ地域のクラブ。「人道的奉仕の重点化と増加」には、1) 他人の事を思いやり他人のために尽くす人道的奉仕に心掛ける。2) 四つのテストの实践。3) 地区目標の推進。「公共イメージと認知度の向上」には、1) 奉仕プロジェクト推進で地域社会との交流で公共イメージの向上を目指す。2) プログラムや奉仕活動の中でメディアが関心ある活動は何かを考察する。3) 飯能クラブの「公共イメージ」は新会員の増強活動にも繋がる。4) My Rotaryへの登録、推奨。こうした目標を实践していきたいと考えております。

#### ●クラブ奉仕委員会 増島宏徳委員長

委員は私と中里忠夫さんです。細井Gがおっしゃったようにサービスは「人のためになる行為」。Club Service is the hub of the club wheel, it is the smooth functioning of this part of a Rotary club that moves the club forward. と言っている人も居ます。水村部門委員長は「クラブの効果的な運営のために活動する委員会です」と言っています。会長、関連委員会と相談、協力しながら、増強、例会の活性化と出席率向上、公共イメージと認知度の向上等の事業を行いたい。中里(忠)委員は地区の会員増強委員ですので地区の情報を提供して頂き、より充実した事業を進めていきたい。私は一昨年委員長でしたが、今、クラブの自主性・自立性が無くなってきていて、トップダウンにRIがいろいろ押し付けてくるようになった。1910年のA. F. シェルドンの言葉「He Profits most who serves his fellows best」を変えたものが、1950年、「Service above self」と共にモットーとして認められたが89年、女性会員を入れるため「He Profits most who serves best」はモットーから外される。ところが、Vocational Serviceは日本人に合っておりRCはステータスだったため、04年にHe→They、2010年にOneとなり、モットーとなった。私が嬉しかったのは細井Gが「He」をそのまま使っておられた事。やはりシェルドンの事をよく知っていらっしやるので原文を使って頂いたのだと思います。RCの成り立ちは1905年2月23日木曜日に4人が集まって出来た。clubから始まったのです。そのclubが1912年に集まってassociation of rotary clubsになり、それがいつの間にか1922年にRIとされてしまった。clubという言葉が無くなってしまったのです。ボトムアップが無くなってきた。クラブを大切にしたい、クラブの自立性・自主性をもう一回戻して欲しいというのが願いであります。

### ●職業奉仕委員会 矢島 巖委員長

委員は木川一男さん、大野康さん。入会して30年位経ちます。「職業奉仕はRCの看板」「LCはWe ServeだがRCはI Serveだ」というような言葉を最近あまり聞かなくなったと思っていたところ、細井Gは「職業奉仕が非常に大事」と、職奉に関する部分が多くを占めていたように感じました。与えられた仕事、自分の事業を一生懸命やる事がロータリアンにとって非常に大事とつくづく感じているところです。そのような思いで「四つのテスト」の唱和をお願いしていますが本年度は英語バージョンです。外国ではどのように唱和しているのでしょうか。職奉月間に地区委員長卓話を予定。ここ数年実施しておりませんでした職場見学、本年度はムーミンのテーマパーク「メッツア」を予定(来春)。細田建設を中心に地元の皆様にもお世話になりながらJVで工事しております。その他、職奉に関する事業を一生懸命務めさせて頂きたいと思えます。

### ●社会奉仕委員会 吉田行男委員長

委員は細田伴次郎さん、半田武さん。地区研修協議会で3つの柱「さきたま古墳群世界遺産化」「アイバンク登録推進」「プライダル」を研修しました。3つを頭に入れつつ、飯能としてはより多くの市民に認知して頂く事をメインに、諸先輩方が各所に設置してこられたRC関連の看板を再調査、再整備、まちづくりで使用した「絵馬案内板」の作り直し等、市民と密着した社奉活動を第一にさせて頂きたい。地区プライダル委員会への協力参加、面白くてためになる担当例会を目指して内容を詰めて参りたい。3人で一生懸命やりますのでご協力お願い致します。

### ●国際奉仕委員会 藤原秋夫委員長

委員は吉田健さん、沢辺瀬彦さん。「国際ロータリアン」はもっと国際奉仕をするべきでは、と感じながらここ5年位やっています。4年前からベトナムの高校にPCを寄贈。13-14年・吉田(武)年度に3人で視察。考えた事は、現地でのいろいろな要望を聞いてからやらないとなかなか出来ないという事と、やるに当たっては皆様の大事なお金が行くわけですから、現地で受け取る側がきちんとしていなければいけないという事です。14-15年・山川年度、タイホア省トースン県のレイロイ高校にPC 20台、プリンター2台、同省エンディン県のチャン・アンチェン高校にPC 10台、プリンター1台を寄贈。「省」は日本の「県」、「県」は「市」で、タイホア県の2市の高校に寄贈したという事です。16-17年・小川年度、チャン・アンチェン高校に追加10台、プリンター1台、マイ・アントアン高校にPC 20台、プリンター2台を寄贈。現在、計60台。あと40台程を希望しています。5年前の委員会予算は20万位で、地区へ納める分を除くとほとんど残らない状態でした。今はPCを贈るといふ事で約50万円の予算を組んでもらっています。大きいようですが、例会の時にでもお話して、どういう形の予算を組んでいくか考えていきたい。半分以上を例会に使っているという事は我々のお腹の中に半分以上の予算が入っているという事です。今後とも力を入れてやっていきますのでよろしくお話ししたいと思います。

### ●青少年奉仕委員会 伊澤健司委員長

平沼雅義委員と担当。五大奉仕の一翼を担っており、次世代の若者の多様なニーズ(健康、人間の価値、教育、自己開発等)を認識し、青少年の将来への一助となれるよう、関係諸団体と協力連携しながら務めたい。地区の高校生社会体験活動支援委員会に出向。高校生の中途退学防止

の取り組みとして、地域企業に協力を頂き、就労体験で社会性やコミュニケーション力を身に付けさせ、自己有用感、学習意欲を高め、生きる力を育成する事で魅力ある高校生活の実現を図り、中途退学の防止に役立てるよう活動しています。今年度、地区の組織編制で委員会が職奉部門に組み込まれたため、職奉の行事も併せて行っています。8/19職奉部門セミナー、基調講演「職業奉仕はロータリーの根幹か〜日本のRC 100周年に向けて考えたい事」ビジョン策定特別委員会・本田博己委員長(前橋RC)。今後、職奉委「出前セミナー」を予定。9月「基本的教育と識字率向上月間」に教育長・今井直己様の卓話「次世代を担う子ども達のために」。ご指導ご鞭撻を賜りながら責務を全うするよう頑張ります。

### ◎細井ガバナー講評

年度初めの目標と経緯。PlanしてDoを始めてCheckしながらDoしながら、そしてまたActionというところで、良いご報告を頂きました。和泉会長は見識の深いところでRI会長や私の方針も交えて年度計画を立てて頂きました。高潔性、四つのテスト、職業奉仕に力を入れ、ハーバートJ、テラーのクラブ・アルミニウムの話もありました。シュルドンの理念がテラーに影響しています。1929年、米国は恐慌に入り、ニューディール政策等ありましたが約10年間は点ではなく、失われた10年間であったわけですね。その中でもロータリアンの企業は職業奉仕理念を遂行し倒産が少なかったようです。根本が非常によろしいのでしょうか。ご遂行お願いします。増島委員長は、1905年に始まり、22年、RIに、等、歴史を述べられた。ポールは「淋しかった」から仲間での親睦が始まったのですが、それが変遷してきた。原点に帰り、私もOneとかTheyではなくHeでよろしいのではという気持ちではありません。矢島委員長、英語バージョンの四つのテストは非常に新しい。ポールも言っています、「1000人のロータリアンが居たら1000通りの考えがあってよい」。大本の思いやり、人のためになる行為。それさえあれば良いと私見ですが思います。ムーミンのテーマパーク、センセーショナルな事になるのかなとドキドキです。吉田委員長、「面白くてためになる」のは根本。それに向かって看板や絵馬の案内板をバージョンアップして頂ければ私も嬉しいです。藤原委員長、予算が足りない事は認識しております。描きながら実際に具体的にしてPlan→Do→Check→Actionで実践されている。これを推奨して頂きたい。地区国奉部門でも結構やっていますのでご一緒に勉強しながらやって下さい。補助金でモタついていて申し訳ない。グローバル補助金の利用で3万ドル以上の事業も出来ます。一緒に有効な事業を推進したいと思います。伊澤委員長は本田PGのお話を熱心に聴いて頂いた。出前セミナーも頑張ってください。(中略)お金を集めて「奉仕、奉仕」という人道的奉仕団体の位置づけが大きかったが、「事業・専門職業・地域社会のリーダー」として高潔性をもって、生きて仕事を全うしているRCの公共イメージを上げていく事が求められています。RCは「時代に追いついていかなければ、時代に適応しなければ、将来への備えが出来ていなければならない」。皆が元気で明るく楽しく、2回ではなく4回も5回もやれるようなクラブがよろしいのかなと思うわけです。皆様のご意見を拝聴して、前ガバナー、前々ガバナー、次のエレクト、ノミニニーと長期計画を立て、より良いRCにして参りたいと思えます。今後ご指導ご協力をお願い申し上げます。